



第四校区 小中一貫教育目標
社会の中で主体的・協働的に生きる力
 <第四校区の子供が15歳段階までに伸ばしていく資質・能力>
 言語活用能力・自ら行動する力・人と関わる力

国・県・市の施策

- 学校の強み・生徒のよさ
- ・真面目で誠実な生徒
- ・自治精神に富む生徒会活動
- ・合唱への高い誇り
- ・特別支援教育拠点校
- ・地域の温かな支援

保護者・地域の願い

- 教育課題解決に向けて
- ・「キャリア・プランニング能力（なりたい自分になる力）」を高めたい
- ・「自己肯定感」「自己有用感」を育み、高めたい

Plan
 第四中学校教育目標
社会人基礎力を備えた人

第四小学校教育目標
 思いやる心 学び合う力 たくましい体
 ～ やさしく かしこく たくましく ～

- 「学び」の深まり
- 教科 1-1-1-(1)
- ①主体的・協働的な学び
 - ②学びの振り返り（自己変容をメタ認知）
- 言語読解 1-1-1-(1)
- ①現実社会から問いを共有し、最適解を協働解決
 - ②思考力を伸ばし、教科で活用
- 総合的な学習の時間 1-2-1-(4)
- ①地域社会と自分のつながりを意識できる課題
 - ②「職業」を柱としたキャリア教育

「言語活用能力」
 「伝える力」「ことばでつながる」

- 「学び」の基盤
- 道徳科 1-1-4-(1)
- ①多様な価値観が表れる問い
 - ②「ちょっぴりよい自分」の発見
 - ③「やってみようかな」という思いの醸成
- 学習環境 1-1-3-(1)
- ①「GIGA スクール構想」の推進・検証（ICTを有効活用した教育課程）
 - ②自律した学習者（「マイスタ」等の活用）

創造・感動・実感
 人権尊重の精神

Do

Action

自己理解、自己肯定感、自己有用感、自己指導能力

- 「生活」の創造
- 特別活動 1-2-4-(1)
- ①生徒会活動、学校行事
生徒自身で作り上げる学校祭、生徒会活動
 - ②学級活動
互いの考えを認め合える人間関係づくり

自己実現
 「自ら行動する力」「人と関わる力」

- 「生活」の基盤
- 生徒指導 1-2-4-(1)
- ①自己決定
夢や目標の実現のため、自分で決定し実行する
 - ②自己有用感
自分が役に立ち価値ある存在だと実感する
 - ③共感的な人間関係
自分の考えを伝えるとともに、互いに尊重し合う

Check

評価「さみどり」(三つの見取り)

- ①見る <気づく>
- ②観る <思いや感情を察する>
- ③診る <総合して解釈し、判断する>

校内研修の充実 学び合い高め合う教師集団
 研修テーマ 主体的・協働的に学ぶ生徒の育成
 ～「指導と評価」に主眼をおいて～ 1-1-3-(1)

<教師としての矜持と使命感> 学び続ける教師・信頼される教師

小中一貫教育＝9年間の積み上げ
 豊かな人間性の涵養 創造的学力の積み上げ

体験活動＋道徳教育＋知識・理解思考（教科）＋論理的思考（言語科）＋創造的思考（総合）
 日々の体験を土壌にした基礎力の育成（第四小）→ 知識・経験を足場にした豊かな創造力（第四中）

カリキュラムマネジメント:重点化を図り、主体的・対話的で深い学びを実現する教育活動の推進
 目標に対する自己の変容を振り返り、子ども自身が自らの成長を実感できる場の積み重ね

※数字は、「沼津市教育基本構想」の「章－節－項－(目)」